



# 加賀市ライフデザイン推進機構について ～プレコンセプションケアの取組～

2024年12月25日

石川県加賀市

加賀市市民健康部  
部長 北口 未知子

# 1 加賀市の概況



3つの温泉を起点とした観光、伝統工芸、ものづくりのまち

温泉:山代・山中・片山津の3つの温泉

伝統工芸:九谷焼・山中漆器

ものづくり:部品メーカーとしてチェーン製造

農業・漁業:梨・ルビーロマン・ブリッコリー・加能がに

位置:石川県の南西部、福井県との県境に位置

東京から 飛行機 1時間30分 北陸新幹線 2時間43分

面積:306km<sup>2</sup>

人口:61,879人(令和6年10月1日)

世帯数:28,951世帯(同上)

18歳までの人口:7,641人(同上)

出生数:285人(令和5年) 合計特殊出生率:1.35(令和4年)

高齢者数:22,209人(35.9%)(令和6年10月1日)

要介護(要支援)認定率:15.2%



山代温泉



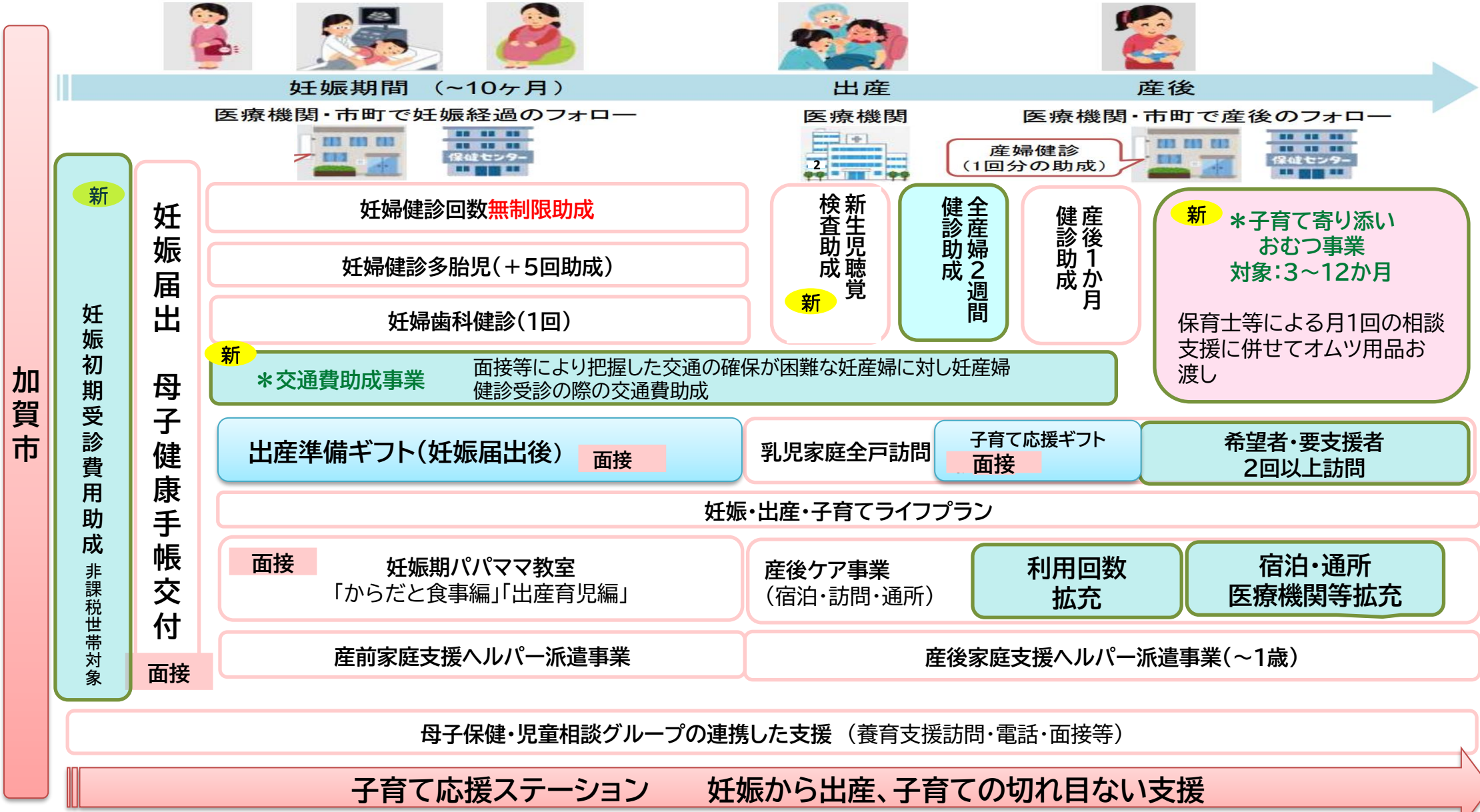
九谷焼



加能がに

# 2 妊娠期から子育て期の切れ目のない支援～伴走支援の充実～(令和5年度～)

加賀市の伴走型相談支援と経済的支援：妊娠初期から産後に妊産婦が相談しやすい体制として市独自の経済的支援(\*)も新たに取り入れ、妊産婦のニーズに応じた専門職によるタイムリーな支援の充実を図る。





# 3 加賀市のプレコンセプションケアの現在の取組

こどもの命と妊産婦を大切にすまちづくりの推進として、小学生や地域に対しての啓発活動

学校・地域

- こどもの命を大切にする啓発事業・親子ふれあい体験(ようこそ赤ちゃん)事業  
こども家庭センター、生涯学習課(家庭教育支援担当課)合同事業  
対象:小学4年生以上 年間:市内10校程度  
講師:乳児と乳児を持つ親、助産師  
内容:いのちの大切さと新しいいのちの尊さ  
親の思いについて児童が参加した親にインタビューを行う。
- 中学校単位での性教育(各自で実施)
- お腹の赤ちゃんを大切にする啓発事業  
講演会、啓発チラシの配布



婚姻時妊娠時

## 若年者向け・婚姻時・妊娠時の取組

- 女性がん検診(乳がん・子宮がん)、若年者健診
- 不妊治療の助成支援(実質無料)
- 婚姻届け出の際に、「いしかわプレ妊活健診」のチラシの配布 令和5年度 15件
- 妊娠時
  - ・マタニティマークキーホルダーの配布
  - ・パパ・ママ教室での「家事家事・育児に関する父親向けワーク ショップ」の開催
  - ・いしかわ妊娠相談ダイヤルの周知啓発



いしかわプレ妊活健診ってなに??

将来の妊活にそなえ、ご夫婦の健康状態のチェックと、併せて産婦人科医師等から妊娠に関する正しい知識を学んだり、今後の妊活について直接相談できるものです。

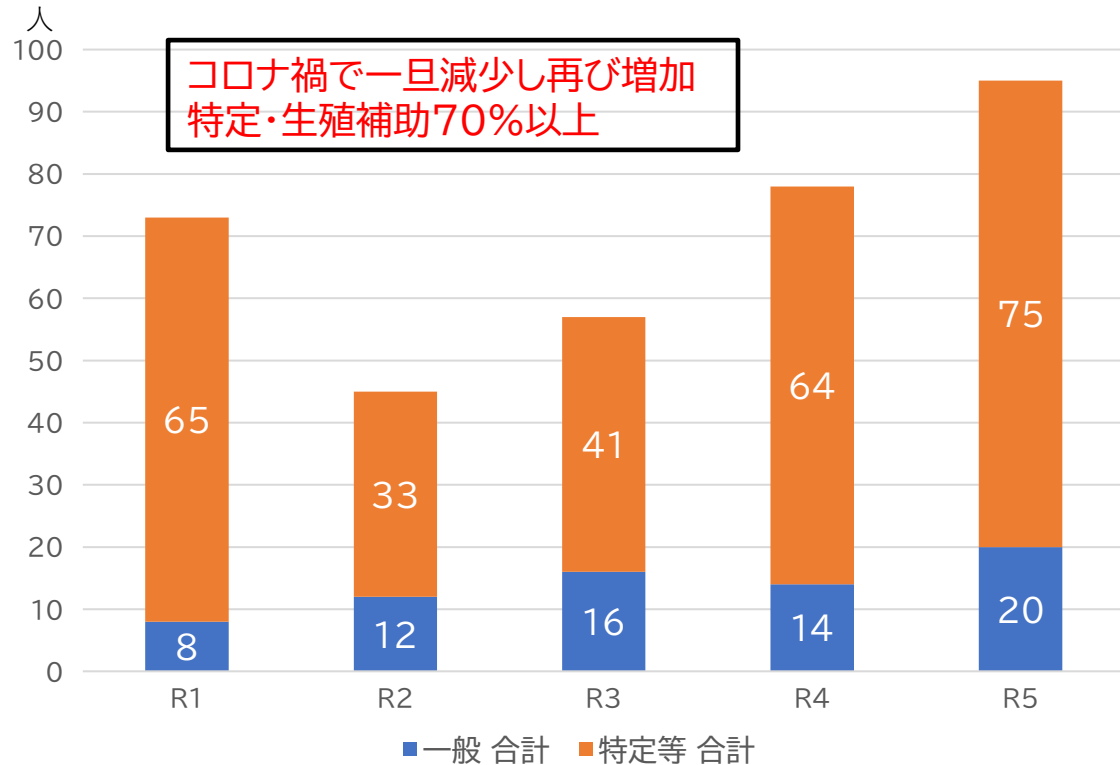
<p><b>健診</b></p> <p>ご夫婦の現在の健康状態を知ることができます。</p>	+	<p><b>健康教育</b></p> <p>妊娠に関する正しい知識を医師等から学ぶことができます。</p>	+	<p><b>医師等のカウンセリング</b></p> <p>今後の妊活について、専門家に直接相談することができます。</p>
--	---	---	---	---

※ ライフステージに応じた啓発普及の必要性と、若年者に対するアプローチの重要性  
 ※ 団体・企業・行政等が自分事としてわがまちのことを考える機会の創出

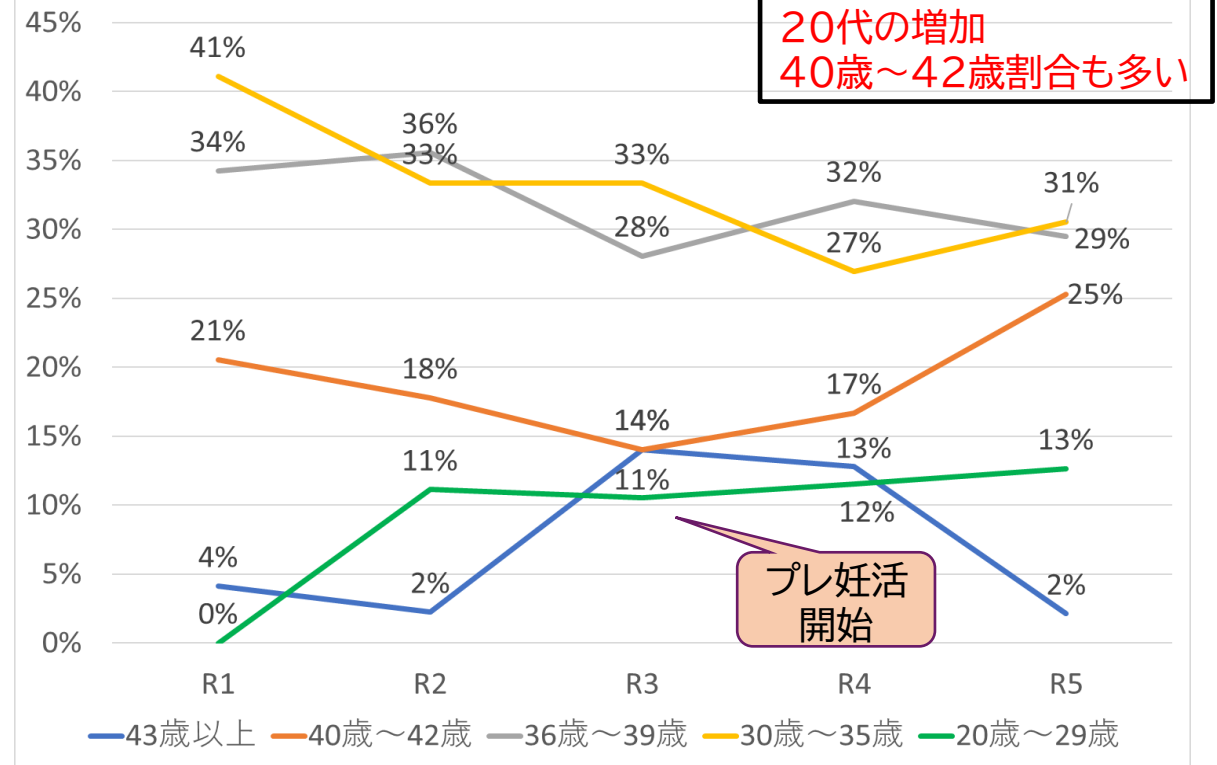
# 4 加賀市不妊治療費助成事業の状況

- 一般不妊治療(薬物、タイミング療法、人工授精等):保険診療の自己負担額分
- 特定・生殖補助医療費(体外受精、顕微授精等):保険適用の基本治療と併せ実施した先進医療に係る治療の自己負担額分
- 対象:女性の年齢が40歳未満(通算6回まで) 40歳以上43歳未満(通算3回まで)
- 自由診療分:60万円上限で助成

不妊治療(一般・特定・生殖補助医療費)助成にかかる申請数



不妊治療(一般・特定・生殖補助)申請者の年齢割合



・令和4・5年度申請者数173件⇒令和4・5・6年度出生につながった件数44件(25.4%)

# 4 加賀市ライフデザイン推進機構について

若者の生活や健康に向き合うために必要な知識・技術の習得や働き方、子育ての支援を進めることで、それぞれに合った将来のライフデザインを考えられる魅力ある地域とするとともに、市内外への積極的なプロモーションや移住・定住策を強化することで、社会意識の醸成を高め、加賀市で就職・結婚・出産等の様々なライフデザインが描けるような環境の構築を目指す。

## 現状

- 人口減少：△934人（R5年中）
- 婚姻件数：178件（R4年中）
- 出生数：285人（R5年中）
- 出生率：1.35（R4年度）
- 移住者数：15組27人（R4年度中）

・消滅可能性自治体に指摘  
・推計人口6万人を下回る  
(昭和22年国勢調査人口を下回る)

## 市民アンケートの結果 (R5. 12実施, 複数回答可)

働くときがあるとよいサポート  
「休みがとりやすい」80%  
「勤務形態・時間が選べる」70%

移住に必要なもの  
「仕事」82%  
「公共交通機関」54%  
「子育て環境」44%

## 対策

### プレコン分野

#### ①プレコンセプションケアの推進

- ・若い女性が妊孕性を含めた正しい知識を理解し、健康管理ができ、個々の自己肯定感を向上させ、自身のライフデザインを描くことができる。
- ・結婚・子どもに関する啓発は、ハラスメント等に及び可能性があることから、専門家を交えながら丁寧に進めていく。

### 労働分野

#### ②正規雇用・就労環境の改善

- ・子育てがしやすいように、短時間労働等の多様な働き方ができる。正規雇用を促進する。
- ・市をはじめ、地元の企業が自分事として主体となり進めていく。

### 子育て分野

#### ③子育て世代の支援

- ・子育てが楽しいと思えるような機運の醸成をもたらす。
- ・親と子どもがともに学び、実践できるものを構築する。
- ・若者を含めた子育て世帯向けの住宅環境を整備する。

## 取組例

### 若者世代向け魅力アップセミナー※

- ・自分磨き、
  - ・プレコンに関するセミナー、検診 等
- ※一部、地域少子化対策重点交付金申請済み

### 企業向けアプローチ・セミナー

- ・働き方（短時間就労）
- ・育児休暇・休業手当
- ・福利厚生の実施 等

### 子育て楽しいプロジェクト

- ・高齢者の積極的参加
- ・こども参加型イベント
- ・遊び場 等

### 市の施策とも連携

- ・市内外へのプロモーション
- ・移住・定住対策
- ・住宅環境の整備
- ・若者支援
- ・教育支援
- ・交通対策 等

効果的な施策の検討  
実施に向けた協議

## 加賀市ライフデザイン推進機構

事務局（加賀市）

- 政策企画部（機構の事務局）
- 産業振興部（労働分野）、市民健康部（プレコン、子育て分野）



# 加賀市ライフデザイン推進機構設立

8月28日に設立総会を開催 @クロスガーデン加賀



各種女性連絡協議会

女性協議会

加賀商工会議所

山中商工会

青年会議所

区長会連合会

## 加賀市ライフデザイン推進機構

連合石川  
かが地域協議会

まちづくり  
推進協議会

加賀市青年団協議会

加賀市育児サークル  
連絡協議会  
ぴよぴよ・かが

みらい子育てネット  
加賀市地域活動連  
絡協議会

NPO法人かもママ  
(子育て支援法人)

顧問: 内閣官房 山崎 史郎 参与、加賀市医師会(上棚 直人 会長)  
アドバイザー: 梅ヶ丘産婦人科(齊藤 英和ARTセンター長)

- ・ 10・11月: 会長・副会長と協議、アンケート実施
- ・ 12月23日: 全体分野会開催

# 5 今後のライフステージに応じたライフデザイン等支援 ～プレコンセプションケア分野～

- ライフステージに応じた啓発活動により、自分を大切にし、命のバトンがつながっている(つなぐ)意識を高める。
- 若い世代がこれからの人生設計を考える上で、妊孕性も含めた健康づくりのために必要な情報を発信し、希望するライフデザインが描けるような機会と環境を整備する。

## 啓発普及

- 中学生や高校生向けの啓発セミナーの開催(他機関・団体と連携)年代に応じた主旨・ねらいの整理
- 企業新入社員等(合同・巡回)向け魅力アップセミナーの開催
  - ① プレコンセプションケアセミナー(産科医、保健師、助産師)
  - ② ライフイベントを考える知識や情報を習得
  - ③ 仲間づくり、情報交換会の開催
- 企業内がん検診の実施状況調査と市検診の活用方法等検討

## 相談支援・人材育成

- プレコンセプションケア検査(健診)と相談支援(健康・栄養相談)
- 包括的性教育(地域の助産師・看護師等の取組を一緒に展開予定)
- R5: 保護者向け
- R6: 「加賀市に相談できる美容、ネイルサロンをつくろう」

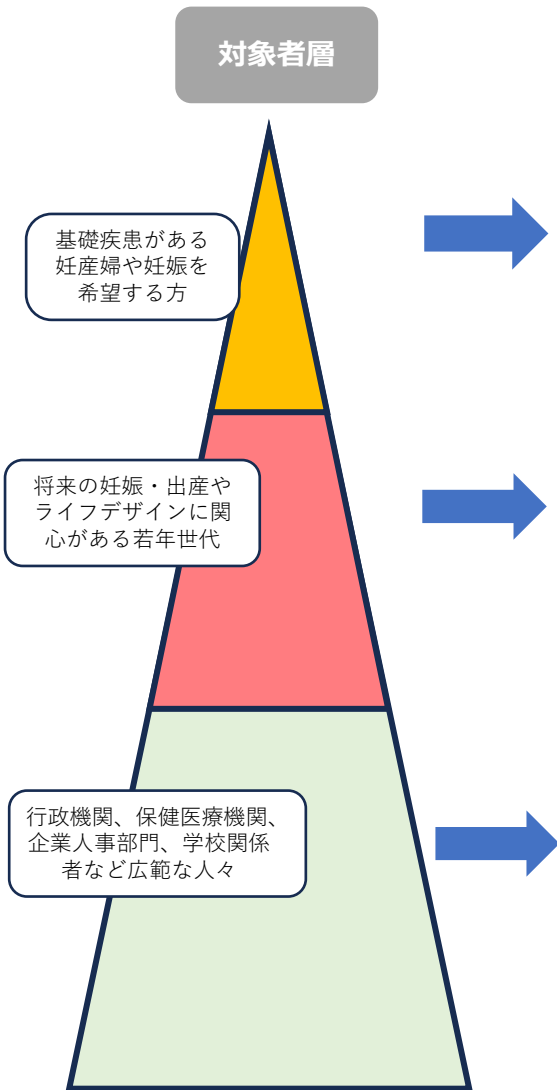




# 6 今後の加賀市におけるプレコンセプションケア(全体像)

※産業界、子育て支援団体、女性・青年団協議会等が参画するライフデザイン機構によるネットワークや強みを活かし、場の設置、周知、既存事業の工夫する。

※これらの企画から得られた情報を機構の労働分野にフィードバックして働き方等の面的なサポートに活かしていく。



加賀市のプレコンセプションケアにおける計画的な取組み

★新規事業

専門的な相談支援体制の強化

いしかわ妊娠相談ダイヤルの周知・啓発・男性女性も相談できる専門相談につなげる

いしかわプレ妊活健診事業の周知・啓発

医療機関での相談支援の推進

★相談支援を行う医療機関等の普及

- 県助産師会や県医師会、県内医療機関での相談支援やオンラインによる相談支援の普及等

★医療機関と連携した企業の取組の推進

- 地域の助産師会や医療機関などと連携して行うプレコンセプションケアのモデル的事業の検討

プレコンセプションケア検査

- 希望する人にAMH(抗ミュラー管ホルモン)の値を調べる血液検査を実施し、検査結果をもとに医師が女性の健康管理に役立つアドバイスをする(健康課)

「プレコンケア」概念の幅広い普及

子どもの命を大切にする啓発事業・家庭教育支援事業(既存事業)

- 小学校への助産師派遣講座により妊娠出産をイメージする(子育て応援ステーション)
- 親子ふれあい体験「ようこそ赤ちゃん」で小学生が命の大切さや親への感謝や家族との関係を考える(生涯学習課)

★企業のがん検診実施状況調査

- がん検診未実施の事業所の従業員や、未受診者が就業時間中に受診できる体制検討(健康課)

★地域の助産師によるプレコンセプションケアについての講座開催

- 企業の若年層や中高校生、その保護者にワークショップ開催をライフデザイン機構委託検討(子育て応援ステーション)

★地域の産婦人科医師や民間団体等によるライフデザインセミナーや包括的性教育の開催

- 専門の医師による健康づくり、生活習慣、女性特有の病気についてのセミナーの実施(健康課)
- 助産師・看護師等の団体による市民の人材育成の実施(子育て応援ステーション)

子どもの命を大切にする啓発事業の周知

- 事業の紹介や結婚や子育てを応援する市の取り組みを紹介する(子育て応援ステーション)